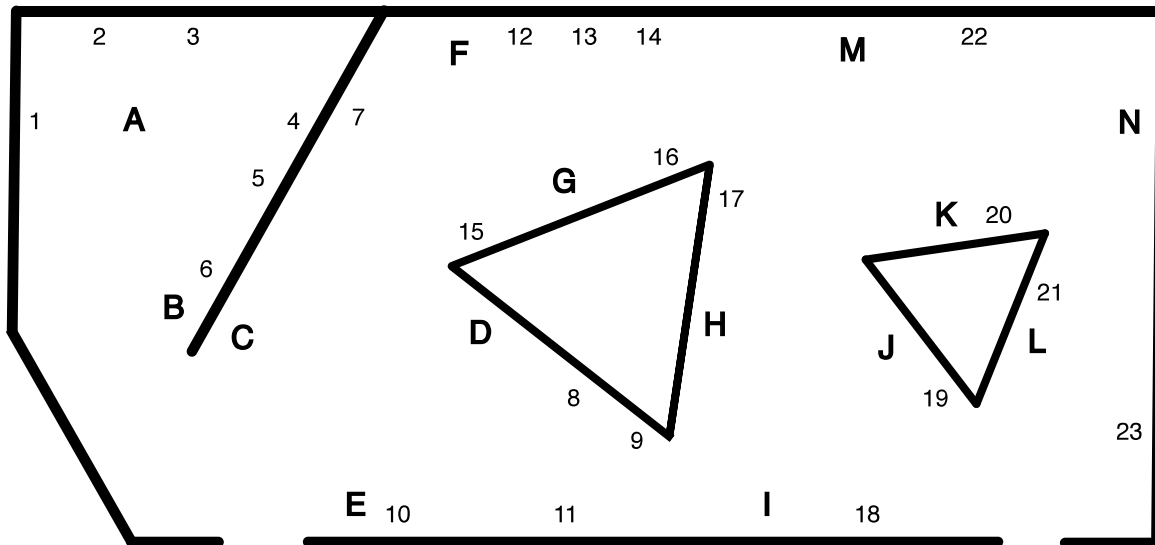


# NAOKI ISHIKAWA: ASCENT OF 14

2023/12/16 sat — 2024/2/18 sun

千代田区立  
日比谷図書  
文化館特別  
展

座  
八



凡例：アルファベットは、14座の山ごとにふられている。作品タイトルは、全てそれぞれの山の名前がつけられており、()内は制作年。番号がふられた説明は、展示中の大判作品に対応するもので、書籍名は展示されている登攀記の書誌情報である。写真印刷は全てタイプCプリント。

## A EVEREST エベレスト (2011年～2013年)

1. ローツェ頂上直下から見たエベレスト。(2013年)
2. エベレスト山頂より10メートルほど手前の雪庇。(2011年)
3. 標高8000メートル弱のサウスコルに作られた最終キャンプ。(2011年)
4. エベレスト山頂越しにマカルーが見える。(2011年)

ジョン・ハント (朝日新聞社 訳) 『エヴェレスト登頂』朝日新聞社、1954年 [日本山岳会所蔵]

## B LHOTSE ローツェ (2011～2013年)

5. エベレスト山頂から正面にローツェが見える。(2011年)
6. ローツェフェイスの斜面。標高8000メートル。(2013年)

アルバート・エグラール (横川文雄 訳) 『雲表に聳ゆる峯々：Gipfel über den Wolken』朋文堂、1958年 [日本山岳会所蔵]

## C ANNAPURNA アンナプルナ (2023年)

7. アンナプルナの北側のベースキャンプ。初登頂を果たしたフランス隊はここから登った。

モーリス・エルゾーグ (近藤等 訳) 『アンナプルナ登頂』岩波少年文庫、1989年 [千代田区立四番町図書館所蔵]

## D MANASLU マナスル (2012年)

8. マナスルベースキャンプ。標高5000メートル弱。
9. ベースキャンプにあがってきたサマ村の人々。

横有恒 編『マナスル登頂記』毎日新聞社、1956年 [日本山岳会所蔵]

## E K2 (2022年)

10. ブロードピークの上の上部キャンプから水平に眺めたK2。
11. K2に至るバルトロ氷河。

アルディート・デジオ 著 (近藤等 訳) 『K2 登頂』朋文堂、1956年 [日本山岳会所蔵]

## F NANGA PARBAT ナンガパルバット (2022年)

12. ナンガパルバット手前の懸垂氷河。
13. ベースキャンプから見たナンガパルバット。
14. ベースキャンプからナンガパルバットとは反対方向を望む。

ヘルリヒコフパー (横川文雄 訳) 『ナンガ・パルバット』朋文堂、1954年  
Karl M Herrigkoffer, Nanga Parbat : Incorporating the Official Report of the Expedition of 1953, Elek Books, 1954 [共に日本山岳会所蔵]

## G

### MAKALU マカルー (2014年)

- マカルー頂上から見たローツェ（左）とエベレスト（右）。
- マカルー頂上直下の稜線。

ジャン・フランコ（近藤等 訳）『マカルー：全員登頂』白水社、1956年  
Jean Franco, *Makalu: 8470 Metres, the Highest Peak Yet Conquered by an Entire Team*, Jonathan Cape, 1957 [二冊共に日本山岳会所蔵]

## H

### BROAD PEAK ブロードピーク (2022年)

- K2 頂上直下から見たブロードピーク。

B・ピエール / M・シュムック『世界山岳名著全集 第10巻：ヒマラヤ、わがよき仲間／ブロード・ピーク』あかね書房、1967年 [日本山岳会所蔵]

Marcus Schmuck, *Broad Peak 8047m :Meine Bergfahrten mit Hermann Buhl, Das Bergland-Buch*, 1958 [共に日本山岳会所蔵]

## I

### KANGCHENJUNGA カンチェンジュンガ (2018年)

- 北面から眺めたカンチェンジュンガ。

チャールス・エヴァンズ（島田翼 訳）『カンチェンジュンガ：その成功の記録』朝日新聞社、1957年

Charles Evans, *Kangchenjunga: The Untrodden Peak*, Hodder & Stoughton, 1956 [二冊共に日本山岳会所蔵]

## J

### GASHERBRUM II ガッシャブルムII峰 (2019年)

- クラシックルートのパナナリッジ手前の岩峰。

マリオ・ファンティン編（牧野文子 訳）『ヒマラヤ巨峰初登頂記』あかね書房、1969年 [日本山岳会所蔵]

## K

### DHAULAGIRI ダウラギリ (2022年)

- ダウラギリ頂上から見たアンナプルナ山群。

マックス・アイゼリン（横川文雄 訳）『ダウラギリ登頂』ベースボール・マガジン社、1963年 [日本山岳会所蔵]

## L

### GASHERBRUM I ガッシャブルムI峰 (2023年)

- ベースキャンプから見たガッシャブルムI峰。別名ヒドンピーク。

ニコラス B. クリンチ（薬師 義美 / 吉永 定雄 訳）『ヒドンピーク初登頂』ナカニシヤ出版、1998年 [東京都立中央図書館所蔵]

## M

### CHO-OYU チョーオユー (2023年)

- ABC 手前からチョーオユーの頂を望む。

ヘルベルト・ティッヒー（横川文雄 訳）『チョー・オユー登頂』朋文堂、1957年 [上智大学中央図書館所蔵]

Herbert Tichy, *Cho Oyu: By Favour of the Gods*, Methuen, 1957 [日本山岳会所蔵]

## N

### XIXABANGMA シシャパンマ (2023年)

- シシャパンマのベースキャンプ。

郭超人（かつお・きんや 訳）『シーシャパンマにいどむ』北陸児童文学協会、1967年 [石川直樹蔵書]

郭超人『征服希夏邦馬峰』少年児童出版社、1965年 [東京大学文学部中国文学研究室所蔵]

1F Library Shop& Cafe Hibiya では、石川直樹展関連書籍を販売中です。

2F 図書フロア パープルゾーン三角台では、展覧会に関連して、石川直樹関連書籍を紹介しています。